

日本が誇る歴史的スーパースポーツカー・トヨタ2000GT。

この世界的な名車を現代に甦らせるというプロジェクトが、ついに実を結んだ。

レプリカの域を超えた2000GT RHVの全貌をお届けしよう。

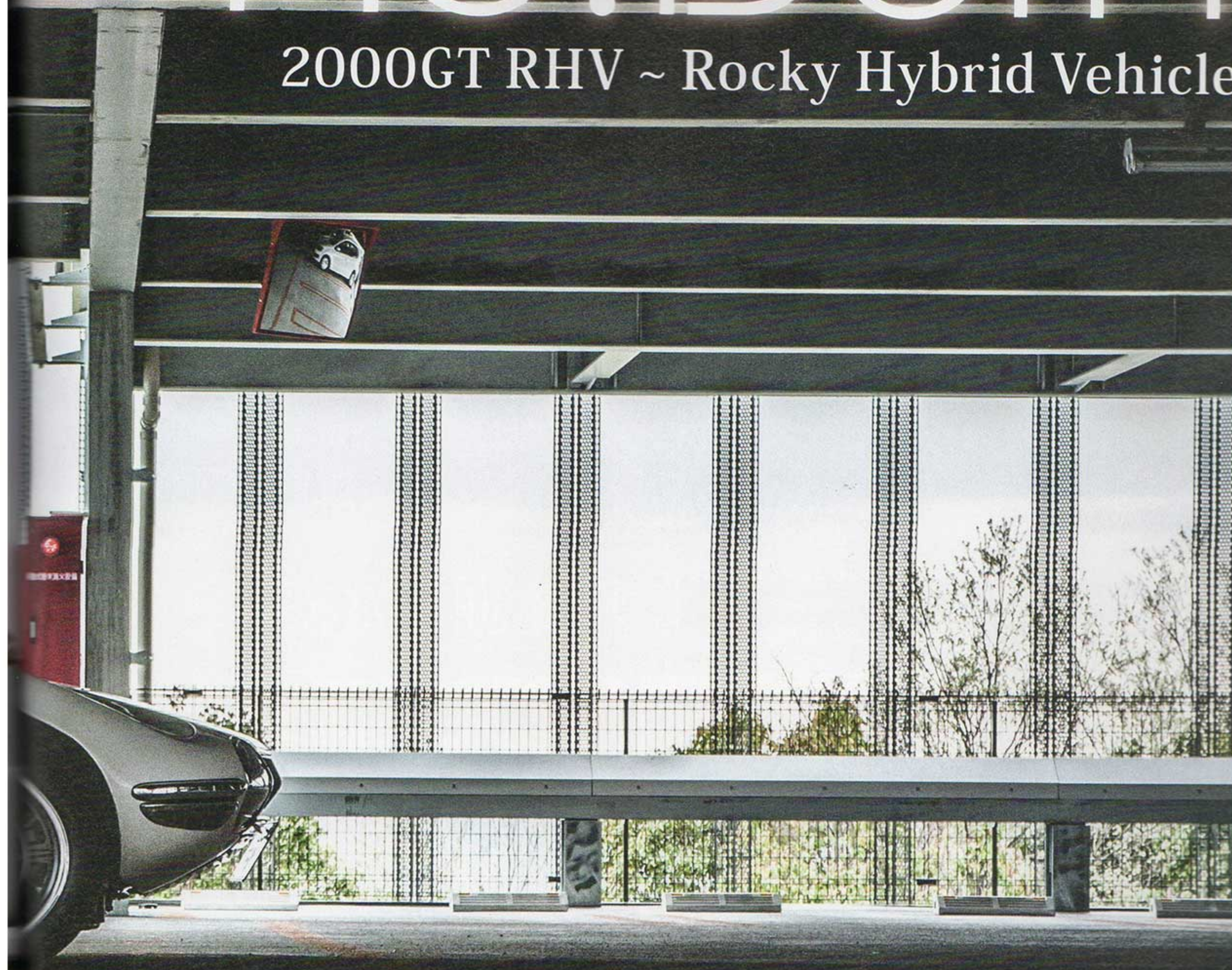


が、愛知県岡崎市のロッキーオートにより、約2年前から開始されている。当時のスタイルそのままに、現代最先端の技術を投入したクルマを作り上げることが目標に、開発はスタートした。このプロジェクトには、当時2000GTの開発に携わり、スピードトライアルやレースなどでトヨタチームを率いていた、細谷四方洋氏が監修を行っている。

現在の自動車の最新の技術を投入するということで、ハイブリッドで製作することは初めから決定していたという。しかし、プリウスやアクアをベースとして製作すると、どうしても2000GTのプロポーションを再現することはできなかったため、ハイブリッドで製作されている。ボディは実写をあらゆる面から精密に計測してCADデータを作成し、FRPで製作。リヤからフロントへ流れるような曲線など、2000GTのフォルムを忠実に再現している。エンブレムやライトカバー、グリルなどのパーツはもちろん、大きく湾曲したフロントウインドーもオリジナルを忠実に再現して製作されている。

Re:Born

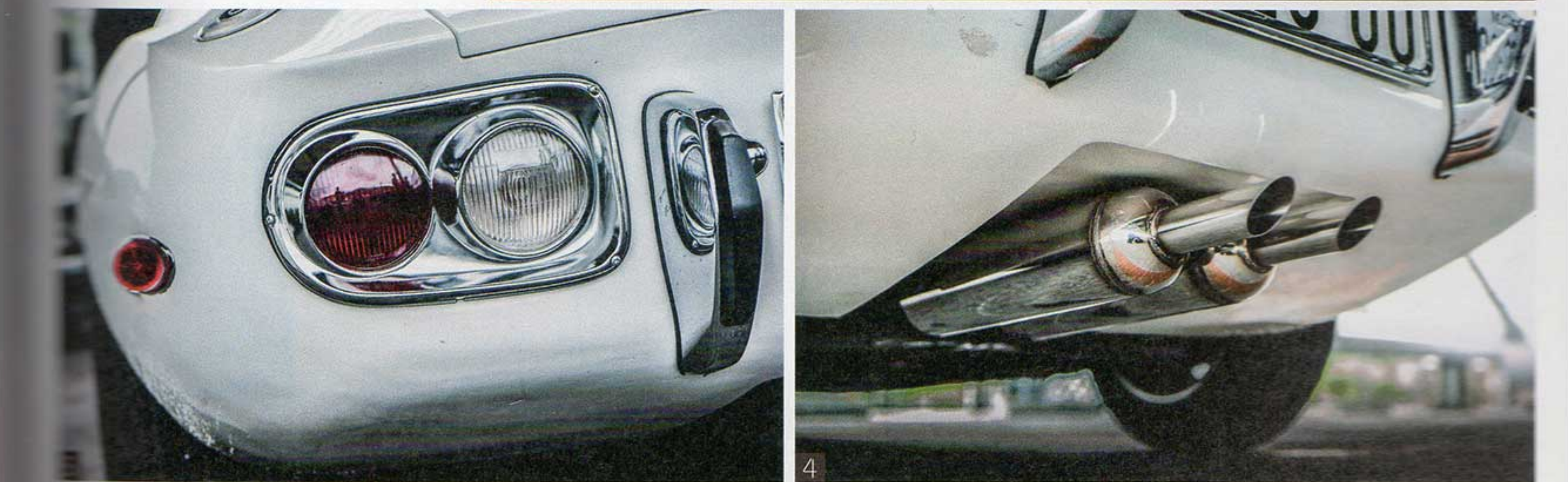
2000GT RHV ~ Rocky Hybrid Vehicle



本物から細部まで計測した再現度の高い美しいボディ

1964年11月1日、1台のスポーツカーの開発がスタートする。試作ナンバー「280A」、これがトヨタ2000GTの原点だ。エンジンの開発は、当時既にDOHCエンジンの試作を行っていた日本楽器(現ヤマハ発動機)に開発協力を依頼し、当時のクラウンに搭載されていたM型エンジンをベースにDOHC化するという手法をとった。また、インパネの美しいウッドパネルも、日本楽器のピアノ作りの技術が生かされているという。

1965年8月14日。試作車の開発開始からわずか10ヶ月で、試作車が完成した。既存のエンジンをベースにしているとはいえ、驚異的な短時間で開発されている。同年10月29日から開催された東京モーターショーに出品され、その美しいスタイルが話題となった。その後、日本グランプリへの参戦や世界速度記録樹立などの活躍を経て、1967年5月16日、市販が開始された。今年2015年は、1号車の誕生から50周年という記念の年となるのだ。



歴史に残る名車を
気軽にドライブできる

この2000GT RHVで注目なのがパワートレインだろう。パイプフレームに搭載されているのは、ガソリンエンジンとモーターを組み合わせたハイブリッドシステム。トヨタハイブリッドシステムⅡ（THSⅡ）が搭載されている。アクアに搭載されているシステムをそっくりそのまま移植しているので、無段変速のトランスミッションはもちろん、パワーステアリング、オートエアコン、パワーウィンドー、スマートキーシステムまで、アクアに装着されている装備は全て移植されている。現代のクルマと同じように、快適にドライブが出来る。エンジンのパワーもエンジン（74ps / 4800rpm）、モーター（61ps）「いずれもアクアの数値」と数字的には物足りなく感じるが、軽いボディのおかげで実に軽快だ。スポーツ走行では物足りないかもしれないが、普段の運転には全く不満はないはずだ。

ちなみに、同じフレーム&ボディにガソリンの6気筒エンジン（トヨタ2JZ）を搭載するモデルも開発中。こちらはマニュアルミッションも用意する予定だ。

単なるレプリカの域を超えた、完成度の高いこのクルマ、是非一度、



①現車のフォルムを忠実に再現するためにパイプフレームを採用。②フェンダーのふくらみなど、美しい曲線を再現。③特徴的なマグネシウムホイールも再現。トヨタ製足回りを流用するためにホイールは4穴。④マフラー形状にもこだわる。⑤リフレクターは改良予定とか。⑥本物と同様に右のハッチにはバッテリー、左にはエアクリーナーが収まっている。⑦シフトレバーはトヨタ製を延長。⑧メーターはトヨタ製のまま。⑨オートエアコン、パワステも装備。⑩助手席エアバッグも装備。⑪RHV-Rocky Hybrid Vehicleのロゴと細谷四方洋氏のサインが入るプレートが付く。⑫トヨタ製のハイブリッドシステムをそっくり移植している。

取材協力 **ロッキーオート** 愛知県岡崎市小美町字殿街道153
☎0564-66-5488 <http://www.rockyauto.co.jp/>



旧車を現代の路上でも気軽に乗れるように、エンジンの積み替えや快適装備の装着などのカスタマイズで知られるロッキーオート。一方、オリジナルを重視したフルレストアの高い技術にも定評がある。まずはホームページをじっくりチェックしてほしい。なお、ショールームは完全予約制だ。

ロッキーオートの名物社長・渡辺氏。日本のクルマをこよなく愛するナイスガイだ。

ショールーム内にはハコスカ、S30Zを中心に、程度の良い名車がずらりと並んでいる。

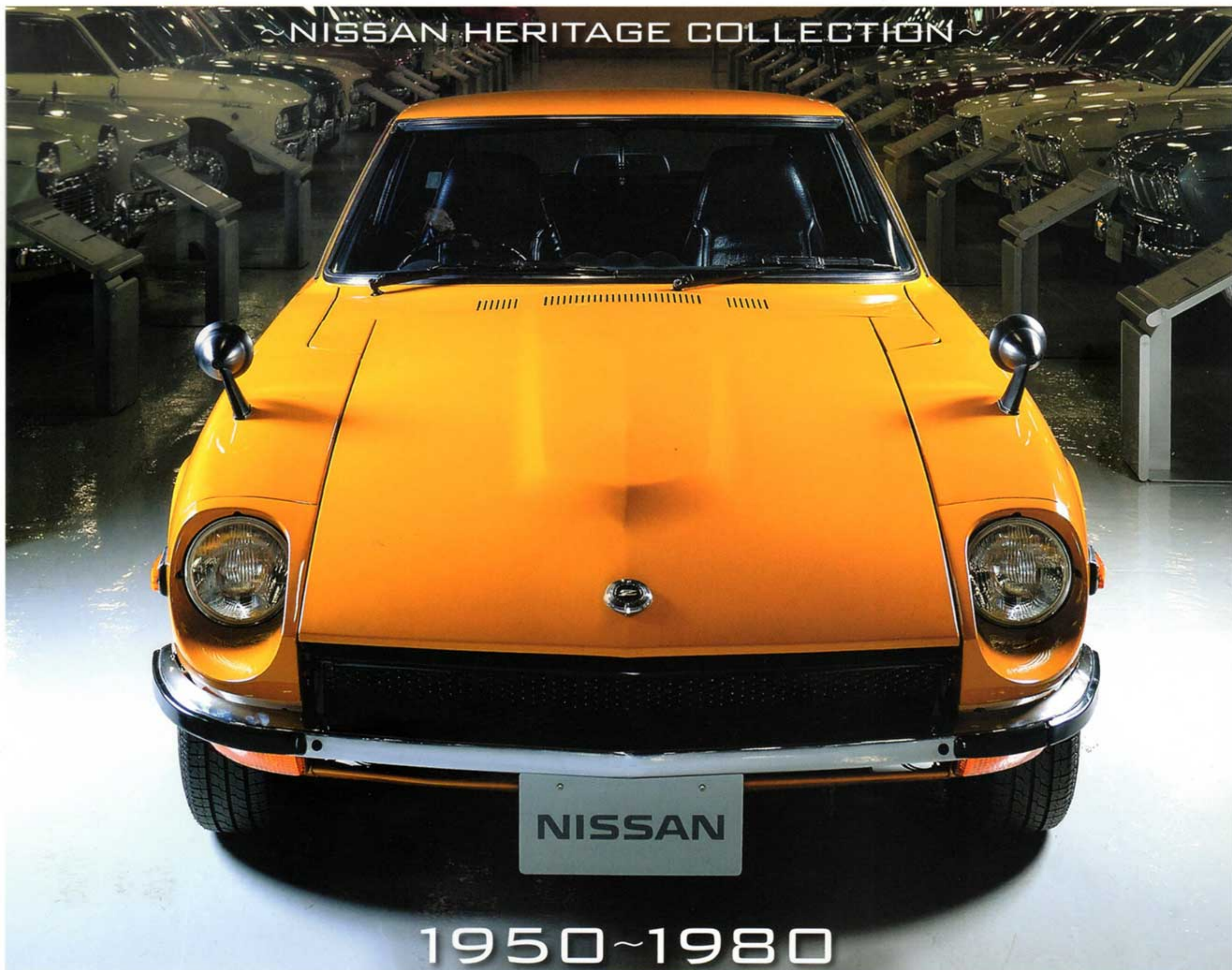
旧車

FAN

vol.2

DEAR GOOD-OLD MOTORCAR CLASSICS

特集・日産ヘリテージコレクションのすべて



1950~1980

時代 を映す広告
◦クルマのキャッチコピーに世相をみる◦

◦ EVENT REPORT & OWNER'S VOICE

まだまだ元気な日本の旧車たち

◦ プレイバック晴海モーターショー1968y

◦ 乗ってみました旧車レンタカー

1975y 日産フェアレディZ

◦ 「新型車解説書」で見る旧車の最新メカニズム

HONDA ライフ編

◦ 旧車FAN Import BMW 2002 シリーズ

◦ 名車縮刷カタログ

◦ 1974y NISSAN フェアレディZ ◦ 1971y DATSUN 240-Z

◦ 1973y NISSAN スカイライン2000GT-R